令和3年度北九州市雇用動向調査

1　目的

市内事業所における従業員数の増減、採用状況、従業員の就労状況、業況等を調査・分析することにより、本市の雇用動向を把握し、今後の雇用対策の基礎資料とする。

2　調査対象

市内の従業員数20人以上の民営事業所（約4，500事業所）の中から、1，500事業所を無作為に抽出。

3　調査方法

郵送によるアンケート調査

4　調査実施時期

令和4年1月7日～1月31日（調査基準日：令和4年1月1日）

5　回収結果

配布数　1，500件

回収数　　567件

回収率　37．8％

6　調査項目

雇用形態別従業員構成、従業員の過不足感、新規学卒者の採用計画・採用実績、高齢者の採用状況等

7 集計結果（概要）

（1）雇用の現状について

① 雇用形態別従業員構成

【従業員の雇用形態別の割合は正社員が上昇、パートタイムが低下】

雇用形態別の割合は、正社員が68．3％と最多で、次いでパートタイム19．9％、臨時雇が10．6％となっている。前回調査（令和3年1月）と比べると、正社員（62．9％）が5．4ポイント上昇し、パートタイム（25．4％）が5．5ポイント低下している。

② 従業員の過不足感

【従業員の不足感が強まっている】

従業員全体の過不足状況は、「不足している」が53．4％、「過剰である」が3．4％となっている。過不足判断DIは50．0ポイントで、前回調査（41．4ポイント）に比べると8．6ポイント上昇しており、不足感が強まっている。

（2）採用状況について

① 過去１年間の採用状況

【過去１年間に従業員を「採用した」事業所の割合は横ばい】

過去 1 年間に従業員を「採用した」事業所の割合は78．8％で、前回調査（80．9％）並みであり、採用実施率は高い。

② 新規学卒者の採用状況

【過去１年間に新規学卒者を採用した事業所の割合は横ばい】

過去 1 年間に新規学卒者（令和3年3月卒業）を正社員として採用した事業所は37．6％となっており、前回調査（35．4％）並みである。

③ 中途採用の状況

【過去１年間に正社員を中途採用した事業所の割合は横ばい】

過去 1 年間に正社員を中途採用した事業所は 63．3％となっており、前回調査（65．3％）並みである。

④ 今後の採用計画

【今後１年間に採用を予定している事業所の割合が上昇】

今後１年間に採用を予定している事業所は56．1％と、前回調査（51．6％）より4．5ポイント上昇している。

（3）高年齢者雇用について

高年齢者の採用状況

【高年齢者を採用した事業所の割合は横ばい】

過去１年間に高年齢者（55 歳以上）を採用した事業所は全体の38．8％で、前回調査（39．7％）と大きな変化はない。

（4）新型コロナウイルス感染症に伴う支援の活用について

新型コロナウイルス感染症に伴う行政支援の活用

【半数近い割合の事業所が感染症に伴う行政支援を活用】

「雇用調整助成金」などの行政支援を活用した事業所の割合は52．4％と前回調査（60．8％）から、8．4ポイント低下している。